

9 あいちのおいたち

■ 沿革

律令体制以前は、尾張（木曾川・庄内川地方）、三河（西三河の矢作川地方）、穂（東三河の豊川地方）に分かれていましたが、律令制下で尾張・三河の2国となり江戸時代まで続きました。明治4（1871）年の廃藩置県で12県が置かれた後、尾張（知多郡を除く）は名古屋県、三河と尾張の知多郡は額田県となりました。その後、名古屋県は愛知県と改められ、額田県を廃して愛知県の管轄に移し、尾張・三河は愛知県として統合されました。当時は2,900を超える町村がありましたが、現在は54市町村（38市14町2村）となっています。

■ 「あいち」の地名の由来

万葉集巻三の^{たけちのくろひと}高市黒人の歌「^{さくらだ たづな わた}桜田へ鶴鳴き渡る^{あゆちがたしおひ}年魚市潟潮干にけらし鶴鳴き渡る」に詠まれている。「年魚市潟」の「あゆち」が「あいち」に転じたと言われています。廃藩置県後、県庁が愛知郡の名古屋城内に置かれたところから県名に採用されました。

■ 愛知県庁舎の歴史

明治5（1872）年11月27日に誕生した愛知県の庁舎は、名古屋城内に置けられました。その後、明治7（1874）年に古渡町の東本願寺別院、明治10（1877）年に南久屋町、明治33（1900）年に南武平町と現名古屋市内を転々とし、昭和10（1935）年10月に現在の本庁舎の建設が着工され、昭和13（1938）年3月22日に完成しました。昭和39（1964）年6月に西庁舎、昭和45（1970）年7月に愛知県警察本部庁舎、昭和50（1975）年5月に議会議事堂、昭和60（1985）年12月に自治センター、平成6（1994）年3月に愛知県警察本部北館が完成し、現在に至っています。

平成26（2014）年12月10日、本庁舎は隣接する名古屋市役所本庁舎とともに、国の重要文化財に指定されました。



愛知県庁本庁舎

略年表

明治	5(1872)年	「愛知県」誕生	元(1989)年	消費税導入（3%）
	12(1879)	最初の県会議員選挙		名古屋で世界デザイン博覧会開催
	19(1886)	鉄道開通（武豊～熱田間）	2(1990)	東西ドイツ統一
	22(1889)	大日本帝国憲法発布	3(1991)	愛知で第11回全国豊かな海づくり大会開催
	24(1891)	濃尾大地震 県内死者2,459人	4(1992)	愛知芸術文化センター（栄地区）開館
	25(1892)	県人口150万人を超える	6(1994)	愛知で第49回国民体育大会（わかしゃち国体）開催
	27(1894)	日清戦争勃発		県警察本部北館竣工
	31(1898)	名古屋市内に電話開通 加入者200人	7(1995)	阪神・淡路大震災発生
	37(1904)	日露戦争勃発		地下鉄サリン事件
	45(1912)	国際オリンピック初参加	10(1998)	長野で冬季オリンピック開催
大正	3(1914)年	第1次世界大戦勃発	11(1999)	県人口700万人を超える
	9(1920)	第1回国勢調査 人口208万9,762人	12(2000)	東海地方で記録的な豪雨
	12(1923)	関東大震災発生	14(2002)	県地方機関の再編
				日韓ワールドカップ開催
昭和	8(1933)年	名古屋市役所（現本庁舎）完成	15(2003)	愛知で第27回全国育樹祭開催
	13(1938)	県庁（現本庁舎）完成		上飯田連絡線開業
	14(1939)	第2次世界大戦勃発	16(2004)	西名古屋港線（あおなみ線）開業
	20(1945)	三河地震発生	17(2005)	中部国際空港・県営名古屋空港開港
		終戦		東部丘陵線（リニモ）開業
	21(1946)	日本国憲法発布		愛知で2005年日本国際博覧会（愛知万博）開催
	25(1950)	愛知県章制定	18(2006)	愛・地球博記念公園（モリコロパーク）開園
		愛知で第5回国民体育大会開催	22(2010)	あいちトリエンナーレ初開催
	29(1954)	名古屋テレビ塔完成		愛知で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）開催
	31(1956)	佐久間ダム完成	23(2011)	東日本大震災発生
	32(1957)	地下鉄開業（名古屋～栄町間）	24(2012)	名古屋ウィメンズマラソン初開催
	33(1958)	愛知県地方計画（第1次）策定	26(2014)	愛知で持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議開催
	34(1959)	伊勢湾台風 県内死者3,168人		技能五輪・アビリンピックあいち大会2014開催
		名古屋城天守閣再建		県庁本庁舎・名古屋市役所本庁舎、国の重要文化財に指定
	36(1961)	愛知用水完工	27(2015)	入鹿池の世界かんがい施設遺産登録
	39(1964)	県庁西庁舎竣工	28(2016)	県人口750万人を超える
		名神高速道路開通（一宮～神戸間）		明治用水の世界かんがい施設遺産登録
		東海道新幹線開業（東京～新大阪間）		あいち航空ミュージアム開館
	41(1966)	東京で第18回オリンピック開催		松原用水・牟呂用水の世界かんがい施設遺産登録
42(1967)	県立大学・県立芸術大学設置	元(2019)年	愛知で第70回全国植樹祭開催	
43(1968)	豊川用水完工		ラグビーワールドカップ2019日本大会開催	
44(1969)	アポロ11号、人類初の月面着陸に成功		あいち技能五輪・アビリンピック2019開催	
	東名高速道路開通（東京～小牧間）	2(2020)	愛知で第58回技能五輪全国大会・第40回全国アビリンピック開催	
45(1970)	大阪で日本万国博覧会開催		あいち朝日遺跡ミュージアム開館	
	県警察本部庁舎竣工	3(2021)	愛知でロボカップアジアパシフィック2021あいち開催	
47(1972)	札幌で冬季オリンピック開催	4(2022)	県政150周年	
	沖縄返還		ジブリパーク開園（ジブリの大倉庫・青春の丘・どんどこ森）	
48(1973)	第1次石油危機			
50(1975)	県議会議事堂竣工			
	沖縄国際海洋博覧会開催			
51(1976)	県人口600万人を超える			
53(1978)	新東京国際空港（成田空港）開港			
54(1979)	愛知で第30回全国植樹祭開催			
60(1985)	国際科学技術博覧会（「科学万博—つくば85」）開催			
	県自治センター竣工			
63(1988)	愛知環状鉄道開業（岡崎～高蔵寺間）			